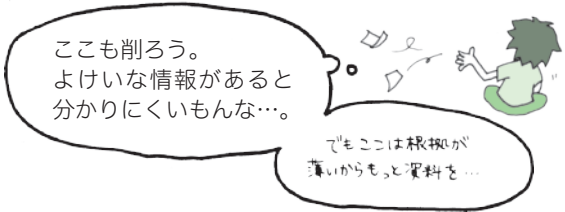
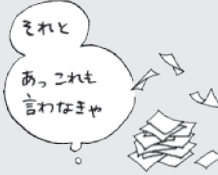
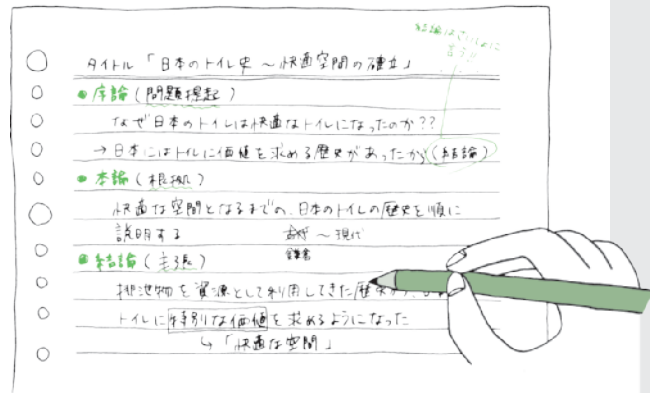


④発表の構成を考える

「問い」から「主張（結論）」を導き出せたら、根拠とあわせて3部構成で組み立てていきます。



口頭による発表は、情報が多いと伝わりにくくなるので、不要な部分はどんどん削ります。逆に、足りない部分は調べ直しましょう。



⑤レジュメを作る

発表の流れと要点が分かるように、簡潔に示します。

人間関係学 2024年7月10日 3限
学籍番号: 240163 瀬見ノリ太

日本のトイレ史～快適空間の確立～

<流れ>
はじめに
1. トイレの誕生と発展
2. くみ取り式から水洗へ
3. 快適空間の確立
おわりに

はじめに 上.トイレ=屎心地の良い場所。トイレの歴史にその裏面がある？

1. トイレの誕生と発展
1-1. トイレ前史 (縄文時代～平安時代)
・トイレ=川、湖、野原 (平安貴族…おまる) →排泄のための不特定な場
トイレという特定の排泄空間の概念はあまりなく、排泄行為があるのみ。

1-2. トイレの誕生 (鎌倉時代～)
・農業技術の発達→し尿を肥料として活用 (排泄物=資源)
・くみ取り式トイレ登場 (排泄物を貯える空間)
トイレが特定の空間として成立 (誕生)。

1-3. トイレの発展 (江戸時代)
・し尿が商品として流通する→し尿価値の確立
・し尿利用のシステムの効率化→(幕末)人口増加によるシステムの崩壊
トイレの地位の確立。ただしあくまでも主体は便槽 (し尿価値に依存)。

2. くみ取り式から水洗へ (近代～)
・化学肥料の登場→し尿の価値が失われる
トイレ…排泄するだけの空間
・水洗トイレ流入→普及せず (発達したし尿利用システムが下水技術普及の足かせに)
し尿価値の喪失→それまでのトイレの存在意義を失う (トイレ低迷・模索)。
……戦後、ゆるやかに水洗トイレが普及しはじめる

3. 快適空間の確立 (～現在)
・水洗トイレの普及
トイレと排泄物を切り離す→トイレに衛生を求める (清潔なトイレへ)
・現代の「個」指向
機能性と究極のプライベート空間を追求→トイレに快適さを求める
トイレ空間に排泄以外の価値を求める
水洗トイレと「個」指向の結びつき→「トイレ=衛生快適空間」……今日のトイレに至る

おわりに 日本人はトイレに価値を求める。

【参考文献】
・木曾祥秋 (2002年) 『トイレと便所の間から』『人間環境論集』第2号
・前田裕子 (2008年) 『水洗トイレの産業史』名古屋大学出版会
・渡辺信一郎 (2002年) 『江戸のおトイレ』新潮選書

授業名と発表の日時、発表者の名前を書きます。

発表の「流れ」を示します。

要点が分かりやすいよう、強調します。

文章ではなく、箇条書きで簡潔に示します。

複数枚になる場合は、必ずページを示します。

レポートと同じように、「参考文献」を示します。